平家物語の世界

語りの伝統を次代に

私たちが古典で習う『平家物語』は、琵琶法師の語る音楽作品として鎌倉時代に誕生しました。その語りは「平家」と呼ばれ、江戸時代には、盲人の地歌・箏曲家によって伝えられてきましたが、今、その伝承は断絶の危機に瀕しています。その語りを次世代に伝えるために、三人の地歌・箏曲家が立ち上がりました。この度、現行曲全八曲を習得し、その成果を世に問います。能楽、歌舞伎、文楽、三曲など、『平家物語』を取り入れたすべての芸能のルーツである『平家物語』の世界が若々しい力でよみがえります。

日吉章吾

田中奈央一

菊央雄司

生食（いけずき）	日吉章吾
横笛（よこぶえ）	田中奈央一
奈須与市（なすのよいち）	菊央雄司
桜の中音（さくらのちゅうおん）	菊央雄司 田中奈央一 日吉章吾
解説と司会	薦田治子

平成29年4月4日［火］

午後6時30分開演（午後6時開場）

入場料◎2,000円（全席自由）

チケットのお申込み・お問い合わせ

紀尾井ホールチケットセンター

03-3237-0061（10時～18時／日・祝休）

主催◎当道音楽保存会：090-2426-1058

後援◎邦楽ジャーナル

公益財団法人日本伝統文化振興財団

会場

紀尾井小ホール

紀尾井ホール5F

公益財団法人 新日鉄住金文化財団

東京都千代田区紀尾井町6番5号 〒102-0094

平家物語の世界

語りの伝統を次代に

源平の合戦を軸に、激動の時代の人々の生き様を描いた『平家物語』は、中世以降の芸能、文学の形成に大きな影響を与えました。『平家物語』ファンに、そして日本の伝統芸能に関心のあるすべての人におくる『平家物語』の世界です。名馬《生食》をめぐる二人の武将の確執、《横笛》の悲恋、扇の的を射落とす若武者《奈須与市》の覚悟、三つの名場面を、若々しい語りでお聴きいただきます。結びは祝儀曲の《桜の中音》です。

◆生食（いけずき）

木曽義仲追討軍が鎌倉を出立する際に、頼朝は、名馬生食を所望した梶原源太景季には磨墨という別の馬を与え、生食を佐々木四郎高綱に与えます。道中、生食を見かけて、このことを知った景季は激怒しますが、ことの成り行きを察知した高綱は、自分も生食を拝領できなかったので、出発当日盗み出したと嘘をつき、このことばに、景季の怒りも収まります。

◆横笛（よこぶえ）

高野山の高僧滝口入道は、若いときに建礼門院の雑仕女の横笛と恋仲になりますが、父の許しを得られず、それがきっかけで出家します。残された横笛は、嵯峨野で滝口を尋ね当てますが、滝口は出家の決心が揺らぐのを恐れ横笛に会いません。その後、滝口が高野山に入ったことを聞いた横笛も出家しますが、横笛はまもなく短い生涯を終えます。

◆奈須与市（なすのよいち）

四国の屋島、日中の戦も終わった夕暮れ時、海上の平家方から扇の的を立てた小舟が一艘漕ぎ出してきます。源氏の大将義経は、弓の名手奈須与市を呼び出して、射落とすように命じます。与市は若干二十歳、必死に故郷の神々に祈り、風が吹き弱った一瞬を捉え、見事扇の的を射落とします。

◆桜の中音（さくらのちゅうおん）

《吾身栄華》の中の中音を祝儀用に語るものです。風雅を愛した藤原成範が神に祈ったところ、桜が三週間も咲き続けたことを語ります。

菊央雄司
地歌箏曲家。大阪府出身。人間国宝故菊原初子の後継者・菊原光治師に師事。二〇〇二年から文化庁の新進芸術家国内研修員として今井勉師から平家の手ほどきを受ける。長谷検校記念全国邦楽コンクール最優秀賞、大阪舞台芸術新人賞、大阪文化祭奨励賞などを受賞。平家語り研究会会員。

田中奈央一
山田流箏曲家。東京都出身。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業後、六世 中能島弘子師に師事。同大学院修士課程修了。文化庁新進芸術家国内研修員修了。NHK邦楽技能者育成会第五〇期首席卒業。東京藝術大学助手を務め、現在都立三田高校・王子総合高校和楽器講師。国立劇場、NHK、歌舞伎公演など、各方面で幅広く活躍中。平家語り研究会会員。

日吉章吾
生田流箏曲家。静岡県出身。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。同大学院修士課程修了。手ほどきを生田流箏曲正絃社大師範の三木千鶴氏に受け、のちに、宮城社大師範の金津千重子氏に生田流箏曲及び三弦を師事。胡弓を高橋翠秋氏に師事。二〇一四年利根英法記念コンクール最優秀賞受賞。平家語り研究会会員。

【平家語り研究会について】
文化庁の委託事業として、平家の語りを次世代に伝えるプロジェクトに取り組んでいます。当道の伝統を守って伝えられた平家の高い芸術性を、確かな技術によって引き継ぐことを目標とし、平家語りの紹介普及にも努めています。薦田治子の主宰する当道音楽保存会の呼びかけに応じ、菊央雄司、田中奈央一、日吉章吾が二〇一五年二月に活動を開始、京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター公開講座、東京藝術大学特別講座、浜松市楽器博物館レクチャーコンサートシリーズ、ICTM（国際伝統音楽協議会）コロキアム、清栄会「初心者のための三味線鑑賞教室」、日本三曲協会講演会などで、演奏を積み重ね、研鑽を積んできています。二〇一六年度はポーラ伝統文化振興財団はじめ、各方面から御支援をいただいています。

紀尾井小ホール

紀尾井ホール5F
公益財団法人 新日鉄住金文化財団
東京都千代田区紀尾井町6番5号 〒102-0094

最寄駅
- ●四ツ谷駅 （JR線・丸の内線・南北線）麹町口徒歩6分
- ●麹町駅 2番出口 （有楽町線）徒歩8分
- ●赤坂見附駅 D出口 (銀座線・丸の内線）徒歩8分
- ●永田町駅 7番出口 (半蔵門線・有楽町線）徒歩8分